



2023年11月14日

各位

会社名 第一生命ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 菊田 徹也
(コード番号:8750 東証プライム)
問合せ先 経営企画ユニット IRグループ
(TEL 03-3216-1222(代))

2024年3月期 第2四半期決算補足資料
(第一生命ホールディングス株式会社分)

2024年3月期 第2四半期 決算報告

2023年11月14日

第一生命ホールディングス株式会社



Dai-ichi Life
Holdings

● 本日のポイント

P.2

※グループ各社のデータ等につきましては、当社HPにて掲載いたします。

<https://www.dai-ichi-life-hd.com/investor/library/index.html>

主要為替レート(TTM)

	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
2023/9末	149.58円	158.00円	96.06円
2023/6末	144.99円	157.60円	95.77円
2023/3末	133.53円	145.72円	89.69円
2022/12末	132.70円	141.47円	89.57円
2022/9末	144.81円	142.32円	94.17円
2022/6末	136.68円	142.67円	93.90円

グループ各社略称・出資比率・決算期

国内保険事業			出資比率	決算期
DL	第一生命		100%	4-3月
DFL	第一フロンティア生命		100%	
NFL	ネオファースト生命		100%	
ipet	アイペット		100%	
海外保険事業				
PLC	プロテクティブ	[米国] Protective Life Corporation	100%	1-12月
TAL	TAL	[豪州] TAL Dai-ichi Life Australia	100%	4-3月
PNZ	パートナーズ・ライフ	[ニュージーランド] Partners Group Holdings	100%	
DLVN	第一生命ベトナム	[ベトナム] Dai-ichi Life Insurance Company of Vietnam	100%	
DLKH	第一生命カンボジア	[カンボジア] Dai-ichi Life Insurance (Cambodia)	100%	1-12月
DLMM	第一生命ミャンマー	[ミャンマー] Dai-ichi Life Insurance Myanmar	100%	
SUD	スター・ユニオン・第一ライフ	[インド] Star Union Dai-ichi Life Insurance Company	45.9%	4-3月
PDL	パニン・第一ライフ	[インドネシア] PT Panin Dai-ichi Life	40%	
OLI	オーシャン・ライフ	[タイ] OCEAN LIFE INSURANCE PUBLIC COMPANY	24%	1-12月
DLRe	Dai-ichi Re	[バミューダ] Dai-ichi Life Reinsurance Bermuda	100%	
その他事業(アセットマネジメント事業)				
AMOne	アセットマネジメントOne		49%(議決権) 30%(経済持分)	4-3月
VTX	バーテックス・インベストメント・ソリューションズ		100%	



連結業績

グループ修正利益通期見通し2,700億円に向け、国内・海外共に順調な進捗

グループ修正利益	1,732億円 国内 1,087億円 海外 586億円
EEV	7.9兆円

- ▶ 対通期利益予想進捗率:64% – グループ全体で順調に進捗（前年同期比+24%）
 - 国内** DLにおける利配減、DFLの販売増を起因とする減益等を保険関係損益の改善で相殺し、前年同期比ほぼ横ばい。通期見通しに対しては国内全体で57%と順調な進捗
 - 海外** TALの基礎的収益力向上や経済変動等の増益要因で、海外全体で前年同期比増益。海外全体の進捗は69%の高進捗
- ▶ 前期末比+8%

グループEEVは、国内における金利・株価の上昇や、円安による海外子会社の増加等により前期末比で増加

トップライン業績

DFLの販売が引き続きグループを牽引

グループ新契約実績	新契約ANP 2,395億円 国内 1,819億円 海外 576億円
	新契約価値 50億円

- ▶ 前年同期比+28% ※為替影響除く
 - 国内** 米ドル建て商品に加えて円建て商品の販売好調等を背景にDFLが高い販売量を維持し、国内全体で+45%
 - 海外** 銀行チャネルのモメンタム低下等によってDLVNが前年同期比で大きく減少となった影響により、海外全体で△8% ※為替影響除く
- ▶ 前年同期比△92%

DL・DLVNにおける販売量減少、PLCにおける経営者保険の販売量減少やDFL・PLCにおける計算上の利回りの影響等により前年同期比で減少。加えて、DLの誤計上(9月公表)の影響も考慮し、通期見通しを250億円程度に引下げ

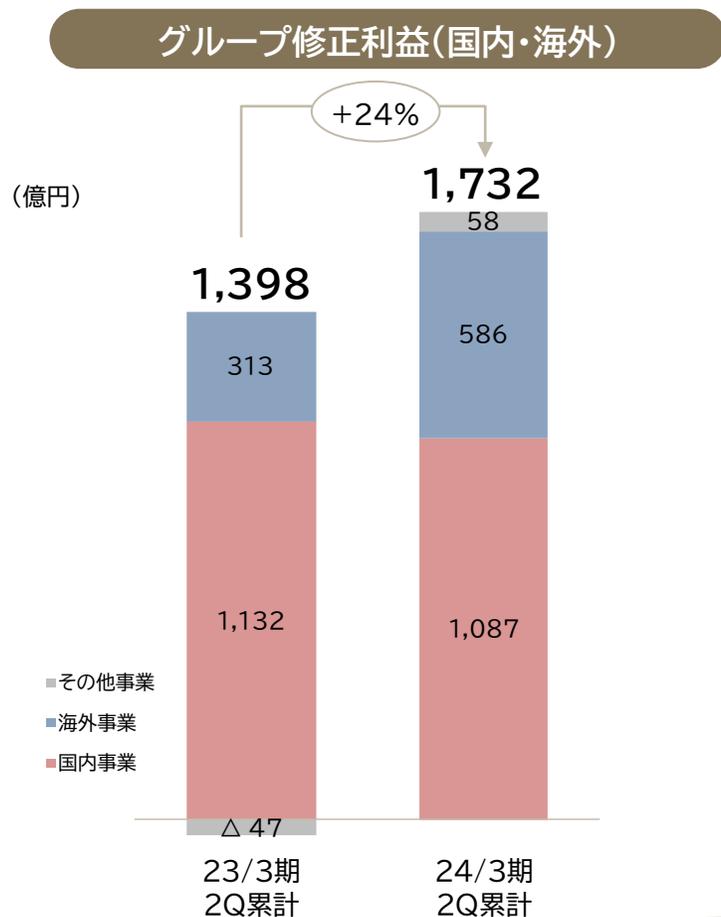
決算のポイント – グループ修正利益（国内・海外別進捗状況）

国内事業全体の通期業績予想に対する進捗は順調

販売好調に伴う新契約費用や準備金繰入れの増加等によりDFLは低進捗に留まったが、前期のコロナ支払からの反動増が運用収益の減少を相殺したDLが高進捗で牽引し、進捗は堅調

海外事業全体の通期業績予想に対する進捗は順調

1QにFRC⁽¹⁾破綻に伴う損失を計上したPLCの進捗率は低く留まったものの、TALの高進捗に支えられ、海外全体では70%に迫る進捗



対通期業績予想の進捗状況(国内・海外)

		グループ修正利益	進捗率 (対通期業績予想)	(参考) 前年同期比
グループ連結		1,732億円	64%	+24%
国内事業		1,087億円	57%	△4%
DL	ヘッジ外債削減に伴い利配収入が減少も、コロナ支払影響からの保険関係損益の改善が相殺し、通期業績予想に対する進捗は順調	1,168億円	64%	+4%
DFL	販売好調に伴う新契約関連費用(代理店手数料支払い等)や準備金繰入れ等が重しとなり、通期業績予想に向け低調な進捗が続く	△88億円	-	-
海外事業		586億円	69%	+86%
PLC	円安による恩恵があったものの、1QにFRCの破綻に伴う損失を計上したことを要因として通期進捗率は低位に留まる	146億円	37%	-
TAL	1Qに続き、基礎的収益力が改善したことや金利上昇・円安の影響等により、通期見通しを超える進捗	327億円	131%	+19%

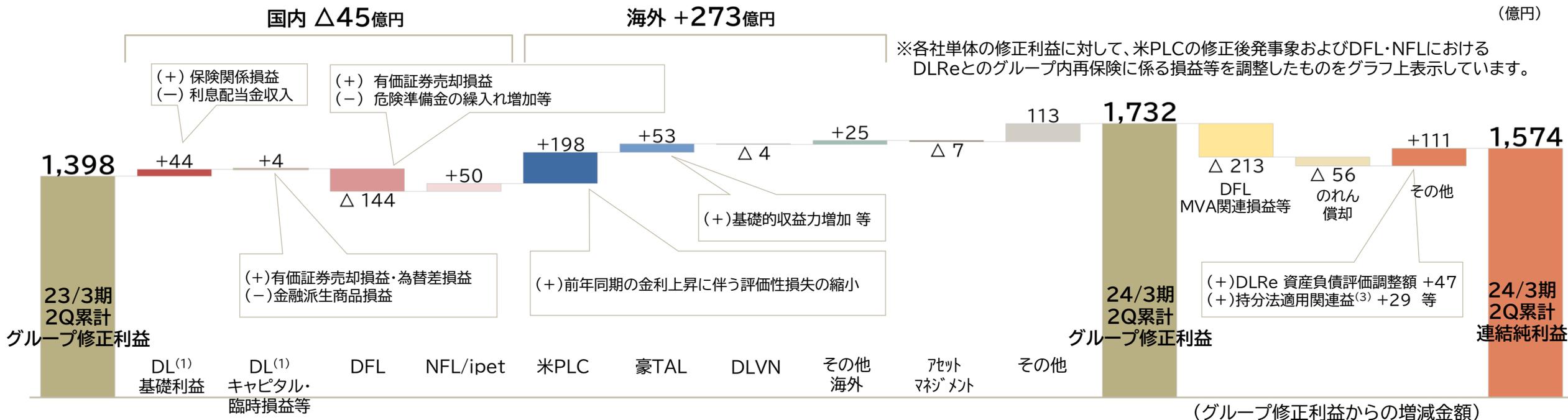
(1) FRC:ファーストリパブリックバンク

決算のポイント - グループ修正利益・連結純利益(前年同期比増減)

- ▶ グループ修正利益は前年同期比+24%増益の1,732億円。DLが利配収入の減少や金融派生商品損益の悪化を保険関係損益の改善で相殺し前年同期比で増益。DFLは新契約販売に伴う費用の増加が利益の重しとなり、前年同期比減益。PLCは前年同期の金利上昇に伴う評価性損失が縮小し、TALは基礎的収益力の向上等の影響でそれぞれ前年同期比で増益。
- ▶ 連結純利益は、DFLにおけるMVA関連損益に含まれる金利変動損益で損失が発生したものの、前年同期比+31%増益の1,574億円

グループ修正利益・前期同期比変動要因

グループ修正利益・連結純利益の差異



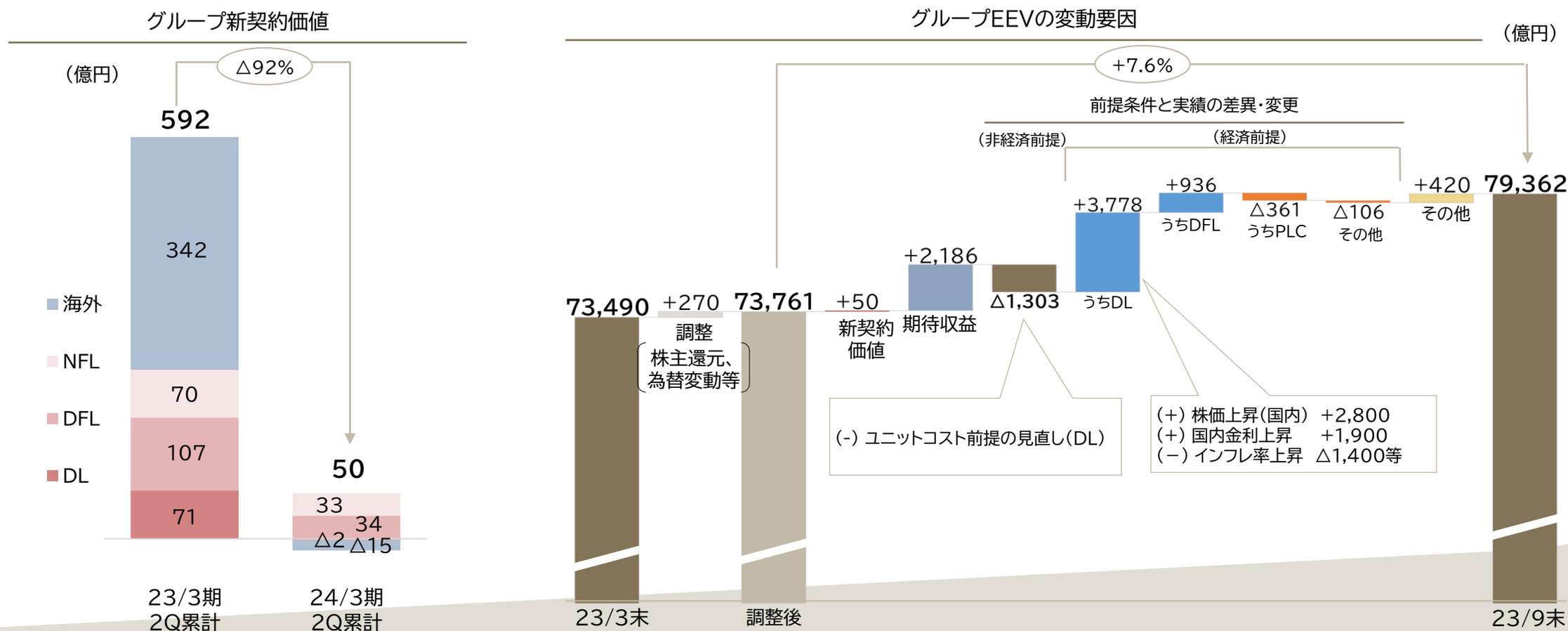
	DL ⁽¹⁾ 基礎利益	DL ⁽¹⁾ キャピタル・臨時損益等	DFL	NFL/ipet	米PLC	豪TAL	DLVN	その他 海外	アセット マネジメント	その他	グループ修正利益	(グループ修正利益からの増減金額)			連結純利益
24/3期 2Q累計	1,426	△258	△88	7	146	327	74	38	16	41	1,732	△213	△56	+111	1,574
23/3期 2Q累計	1,382	△263	56	△42	△52	274	78	13	24	△71	1,398	△162	△41	+6	1,201

(1) 基礎利益は税前を記載しており、DLにおける法人税等の変動は、キャピタル・臨時損益等を含めています。
 (2) 24/3期からTAL・PNZがIFRS17を適用したことに伴い、前年同期(23/3期2Q累計)の数値についてIFRS17ベースに遡及修正し、グループ連結の数値についても修正を反映しています。
 (3) 23年2Qに日本インベスター・ソリューション・アンド・テクノロジー(株)の持分を引き上げ、持分法適用したことに伴い発生した増益

決算のポイント - グループ新契約価値・グループEEVの変動要因

- ▶ 新契約価値は前年同期比△92%減の50億円。DL、DLVNでの販売量の減少や、PLCにおける経営者保険の販売量減、DFL・PLCにおける運用スプレッド前提の影響等により前年同期比で減少
- ▶ グループEEVは、国内金利・国内株式の上昇によるDL等における保有契約価値増加に加え、期待収益の実現や、金融市場環境の改善に伴う経済前提と実績の差異+約5,000億円の増加が大きく寄与し、前年度末比+8%増加

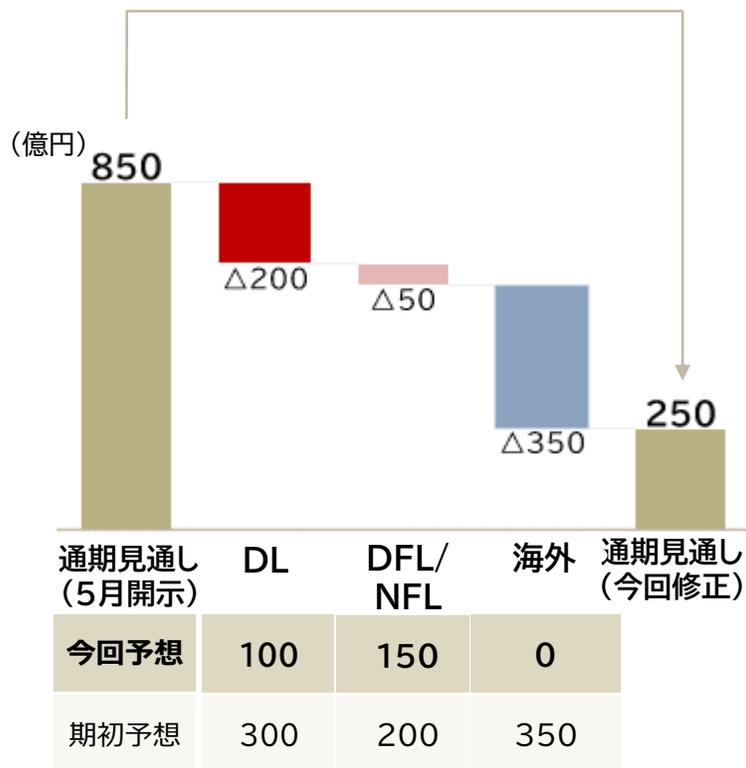
グループ新契約価値・グループEEVの変動要因



決算のポイント – 新契約価値の通期見直し修正

- ▶ 国内では、DLの誤計上(9月公表)や今後の販売見直し等を考慮した他、DFLにおいて運用ポートフォリオ変更により実際の運用利回りが計算上反映されない運用資産が増加したことや、NFLの新契約マージン低下等が影響。海外については、DLVNの販売量低下に加え、PLCにおいてリタイアメント事業で販売している一部商品についてEV計算上の割引率を上回る運用利回りが反映されないこと等が影響
- ▶ DLの新契約については、グループ商品を含む営業収益価値等に回復のトレンドはあるものの、DL元受としての本格的な回復には一定の時間を要する見直し

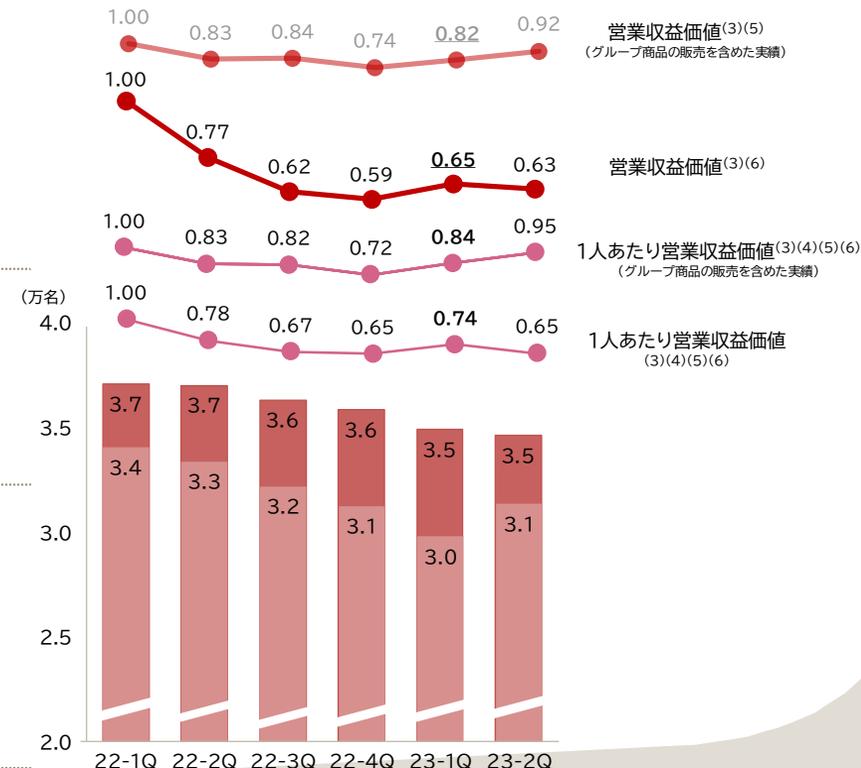
新契約価値 通期見直し修正



各社毎の増減要因



DL営業収益価値推移(生涯設計デザイナーチャンネル)⁽²⁾



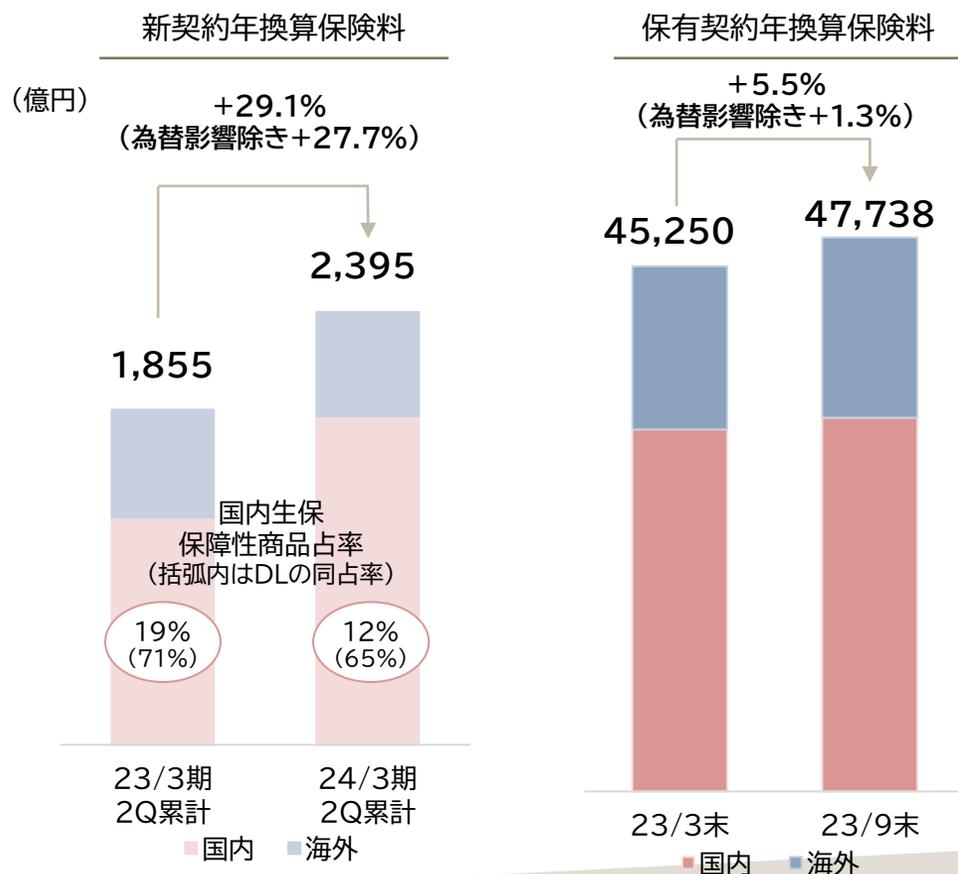
(1)22年1Qに実施の職員制度改定時に満1年未満の職員を新制度上の1年目として再定義 (2) DL商品の販売に関する実績値を掲載 (3)営業部門の獲得収益を表す当社独自の指標。コスト控除前の経済環境の変動要因を除外した数値 (4)各期の営業収益価値を分子として計算 (5)1年目を除く生涯設計デザイナー数を分母として計算 (6)2022年度1Qを1として指数化した数値

■生涯設計デザイナー数(全体) (1)
■生涯設計デザイナー数(入社1年目を除く)

決算のポイント – 新契約・保有契約年換算保険料

- ▶ 新契約ANPはグループ全体で、前年同期比+29%の2,395億円(為替影響除き +28%)
- ▶ 国内は、DFLが高い金利水準が続く米ドル建て商品等を中心に引き続き好調な販売量を維持し全社を牽引、NFLも前年同期を上回った結果、国内全体で前年同期比+45%増加。一方で、DL生涯設計デザイナーチャネルにおけるDL自社商品の販売については、前年同期比でマイナスが続く。
- ▶ 海外は、DLVNで銀行チャネルの販売が大きく減少した影響等により、為替影響除きで前年同期比△8%減少(為替影響含み △4%)

新契約・保有契約年換算保険料(ANP)の状況



(億円)	新契約年換算保険料			保有契約年換算保険料		
	23/3期 2Q累計	24/3期 2Q累計	前年同期比	23/3末	23/9末	前期末比
国内4社計	1,258	1,819	+44.6%	31,196	32,194	+3.2% (+1.0%)
DL	252	223	△11.6%	19,977	19,682	△1.5%
うち第三分野	163	139	△14.6%	7,019	6,970	△0.7%
DFL	946	1,499	+58.4%	9,644	11,064	+14.7% (+7.6%)
うちDLチャネル販売	251	357	+42.3%	-	-	-
NFL	58	63	+8.4%	1,248	1,112	△10.9%
うちDLチャネル販売	37	40	+6.3%	-	-	-
ipet	-	32	-	325	335	+2.9%
海外6社計	597	576	△3.5% (△8.0%)	14,053	15,544	+10.6% (+2.1%)
PLC	354	367	+3.5% (△2.4%)	6,805	7,723	+13.5% (+3.9%)
TAL	49	65	+32.3% (+29.7%)	5,496	5,930	+7.9% (+0.7%)
PNZ	-	16	-	500	541	+8.1% (+1.5%)
DLVN	190	120	△36.5% (△38.5%)	1,242	1,335	+7.5% (△1.3%)
DLKH/DLMM	2.8	5.6	+95.3% (+92.0%)	9.0	13.1	+45.7% (+33.4%)
第一生命グループ計	1,855	2,395	+29.1% (+27.7%)	45,250	47,738	+5.5% (+1.3%)

増減率の下段()は為替変動の影響を除く変化率

2024年3月期 通期業績予想

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

その他事業

Dai-ichi Life Holdings

▶ DFLの保険料等収入増加や為替差益等の発生で経常収益を中心に良好な進捗。なお、2Qまでの販売実績等を踏まえ、グループ新契約価値予想を下方修正

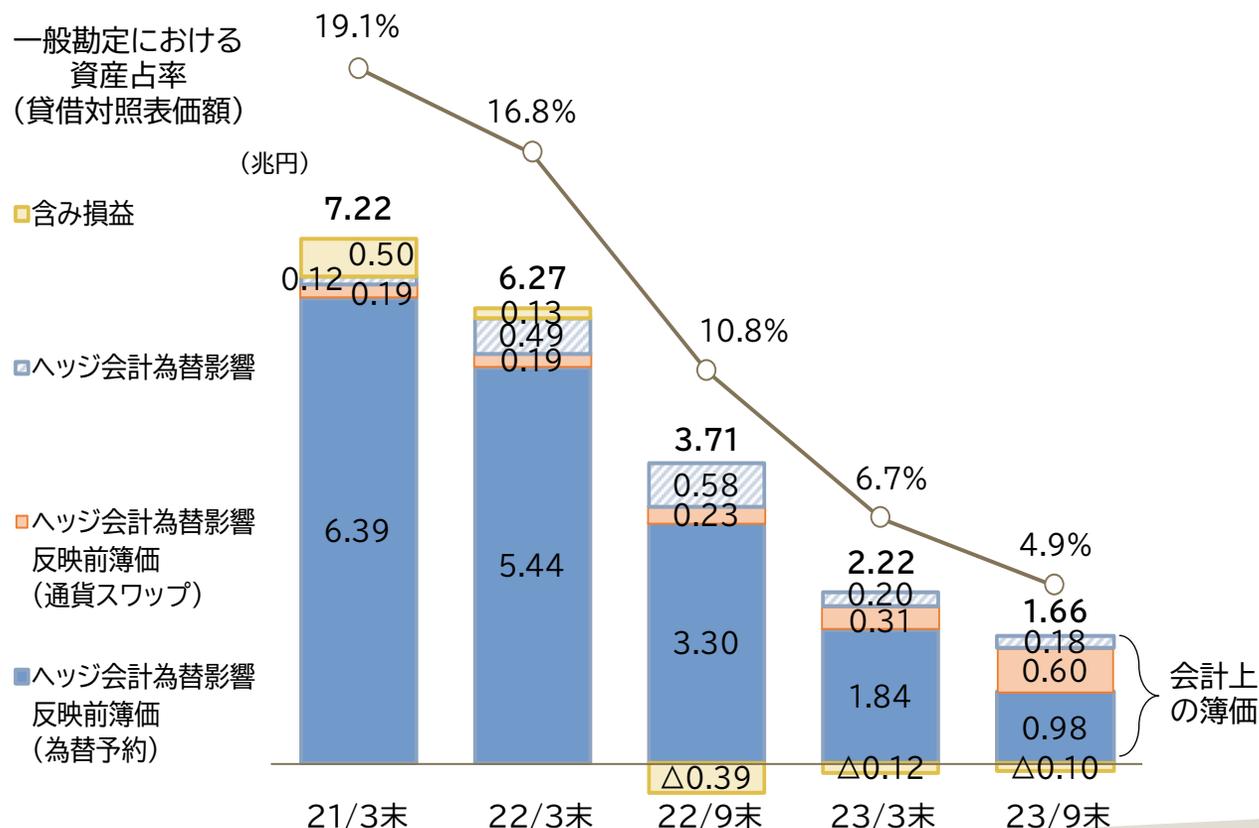
(億円)	23/3期 2Q累計 ⁽³⁾	24/3期 2Q累計	前年 同期比	(%)	対通期予想 (今回)進捗率	23/3期 通期実績	24/3期通期予想		業績予想 増減額
							5月公表予想	今回	
連結経常収益	56,190	55,367	△ 823	△ 1%	66%	95,194	83,530	-	-
第一生命	20,686	19,332	△ 1,353	△ 7%	54%	41,398	35,650	-	-
第一フロンティア生命	25,155	22,177	△ 2,977	△ 12%	93%	39,992	23,850	-	-
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	8,861	6,975	△ 1,886	△ 21%	68%	12,931	10,280	-	-
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	4,280	4,608	+ 327	+ 8%	56%	8,331	8,290	-	-
連結経常利益	2,361	2,645	+ 284	+ 12%	57%	4,109	4,650	-	-
第一生命	2,212	2,120	△ 91	△ 4%	61%	3,535	3,490	-	-
第一フロンティア生命	△ 114	△ 386	△ 272	-	-	139	190	-	-
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	△ 49	11	+ 61	-	4%	190	260	-	-
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	380	467	+ 87	+ 23%	120%	567	390	-	-
連結純利益⁽²⁾	1,201	1,574	+ 373	+ 31%	58%	1,923	2,730	-	-
第一生命	1,119	1,168	+ 48	+ 4%	64%	1,656	1,830	-	-
第一フロンティア生命	△ 106	△ 310	△ 204	-	-	64	150	-	-
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	△ 38	8	+ 47	-	4%	138	200	-	-
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	285	333	+ 48	+ 17%	123%	409	270	-	-
グループ修正利益	1,398	1,732	+ 333	+ 24%	64%	1,844	2,700程度	-	-
グループ新契約価値	592	50	△ 542	△ 92%	20%	878	850程度	250程度	△ 600
					1株あたり配当(円)	86	86	-	-
(参考)基礎利益	2,074	2,158	+ 83	+ 4%	50%	3,642	4,300程度	-	-
第一生命	1,382	1,426	+ 43	+ 3%	51%	2,571	2,800程度	-	-

(1) 米PLCおよび豪TALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示 (2) 親会社株主に帰属する当期純利益
(3) TAL・PNZがIFRS17を適用したことに伴い、前年同期(23/3期2Q累計)の数値についてIFRS17ベースに遡及修正しています(グループ連結についても遡及修正を反映しています)。

第一生命の為替ヘッジ付外貨建債券運用の状況

- ▶ 為替ヘッジコストの高止まりに対応し、為替ヘッジ付外債の売却計画を前倒しで実施。為替ヘッジ付外債(為替予約)の簿価残高は1兆円を切る水準まで低下
- ▶ 残高削減の結果、ヘッジコストの通期見通しは約700億円と期初見通しの水準まで低下。今後の残高削減については市場金利の動向を見極めつつ、必要に応じて機動的に実施予定

為替ヘッジ付外債残高詳細(貸借対照表価額)



為替ヘッジ付外債 損益状況

	23/3期 2Q累計	24/3期 2Q累計	(参考) オープン外債 ⁽¹⁾
(億円)			
利息・配当金等収入	815	326	254
為替に係るヘッジコスト	△ 232	△ 370	-
有価証券売却損益	△ 1,501	△ 487	46
貸借対照表価額	37,173	16,624	13,321
会計上の簿価	41,149	17,665	12,811
含み損益	△ 3,975	△ 1,040	510
(参考) ヘッジ会計為替影響 反映前簿価	35,325	15,864	

(1) 外国公社債投資信託を含む

本資料の問い合わせ先
第一生命ホールディングス株式会社
経営企画ユニット IRグループ

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

2024年3月期第2四半期 財務・業績の概況

①契約の状況等

		2023年9月期			23年3月期	22年9月期
			23/3期比	22/9期比		
新契約年換算保険料(グループ)	(百万円)	239,568	-	+29.1	393,631	185,566
うち第一生命	(百万円)	22,346	-	△11.6	46,231	25,291
うち第三分野	(百万円)	13,916	-	△14.6	29,577	16,301
うち第一フロンティア生命	(百万円)	149,980	-	+58.4	220,747	94,678
うちプロテクティブ	(百万円)	36,729	-	+3.5	64,602	35,479
うちTAL	(百万円)	6,559	-	+32.3	9,976	4,958
うち第一生命ベトナム	(百万円)	12,082	-	△36.5	36,994	19,015
保有契約年換算保険料(グループ)	(百万円)	4,773,836	+5.5	+6.3	4,525,021	4,489,856
うち第一生命	(百万円)	1,968,204	△1.5	△3.0	1,997,790	2,029,654
うち第三分野	(百万円)	697,001	△0.7	△1.5	701,909	707,785
うち第一フロンティア生命	(百万円)	1,106,466	+14.7	+18.0	964,485	937,743
うちプロテクティブ	(百万円)	772,397	+13.5	+9.0	680,550	708,540
うちTAL	(百万円)	593,038	+7.9	+5.9	549,638	559,976
うち第一生命ベトナム	(百万円)	133,551	+7.5	+10.5	124,206	120,863
連結保険料等収入	(百万円)	3,682,294	-	+11.9	6,635,483	3,291,895
うち第一生命	(百万円)	1,146,952	-	△0.8	2,296,892	1,156,013
うち個人保険分野	(百万円)	657,815	-	△4.3	1,386,036	687,628
うち団体保険分野	(百万円)	419,607	-	+6.1	768,909	395,652
うち第一フロンティア生命	(百万円)	1,574,235	-	+28.1	2,612,666	1,228,816
うちプロテクティブ	(百万円)	461,076	-	+5.6	809,517	436,501
うちTAL	(百万円)	395,181	-	+12.8	663,630	350,354
うち第一生命ベトナム	(百万円)	61,419	-	△2.7	125,615	63,138
保有契約高(国内グループ生保合算値)	(百万円)	95,931,535	△0.2	△2.0	96,123,361	97,935,431
うち第一生命	(百万円)	81,830,476	△2.3	△4.9	83,727,811	86,003,775
解約・失効年換算保険料(第一生命)	(百万円)	36,183	-	+13.5	66,864	31,871

※3月期比、9月期比は増減比率

- (注) 1. グループとは第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命、アイベット、プロテクティブ、TAL、パートナーズ・ライフ、第一生命ベトナム、第一生命カンボジア、第一生命ミャンマーの10社
国内グループ生保とは第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の3社
2. プロテクティブ、第一生命ベトナム、第一生命カンボジア、第一生命ミャンマーの決算日は12月31日
3. 新契約年換算保険料及び保有契約年換算保険料のうち、アイベット、プロテクティブの損害保険、TAL、パートナーズ・ライフ、第一生命ミャンマーの団体保険を含む
(ただし、アイベット、パートナーズ・ライフは2023年3月期分から適用する)
4. 保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金、団体保険分野は団体保険+団体年金の合計保険料(再保険収入は含まない)
5. 2022年9月期は、TALにおいて、IFRS17を適及適用したもの
6. 保有契約高、解約・失効年換算保険料は個人保険+個人年金保険
7. 解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出、「減額」は含まない

②資産の状況等

		2023年9月末			23年3月末	22年9月末
			23/3末比	22/9末比		
連結総資産	(億円)	653,974	+6.1	+2.3	616,536	639,391
連結実質純資産額	(億円)	62,725	△13.7	△11.4	72,650	70,807
連結ソルベンシー・マージン比率	(%)	653.6	△50.5	△55.3	704.1	708.9

※3月末比、9月末比は増減比率(ソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)

③基礎利益・順ざや

		2023年9月期			23年3月期	22年9月期
			22/9期増減額	22/9期増減率		
グループ基礎利益	(百万円)	215,835	+8,367	+4.0	364,202	207,468
うち国内保険事業合算値	(百万円)	124,877	△10,484	△7.7	224,613	135,362
うち第一生命	(百万円)	142,663	+4,395	+3.2	257,143	138,267
うち第一フロンティア生命	(百万円)	△18,798	△21,623	-	△23,222	2,824
うちネオファースト生命	(百万円)	△81	+5,647	-	△9,691	△5,729
うち海外保険事業合算値	(百万円)	83,479	+3,312	+4.1	149,514	80,167
うちプロテクティブ	(百万円)	32,881	△8,515	△20.6	85,127	41,397
うちTAL	(百万円)	39,250	+11,833	+43.2	41,502	27,416
うち第一生命ベトナム	(百万円)	9,262	△564	△5.7	18,897	9,827
うちその他	(百万円)	7,478	+15,539	-	△9,926	△8,061

- (注) 1. グループ基礎利益は、第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の基礎利益、プロテクティブの税引前営業利益、TAL、パートナーズ・ライフの基礎的な利益(税引前換算)、アイベット、第一生命ベトナム、第一生命カンボジア、第一生命ミャンマーの税引前利益、関連会社の持分利益(税引前換算)等を合算し、グループの内部取引の一部を相殺した数値を掲載
2. 2022年9月期は、TALにおいて、IFRS17を適及適用したもの

		2024年3月期の予想	2023年3月期の実績
順ざや額(国内グループ生保合算値)	(億円)	減少の見込	1,192

④基礎利益の内訳
(国内グループ生保合算値)

	(百万円)	2023年9月期		23年3月期	22年9月期
		22/9期増減額	22/9期増減率		
基礎利益		123,782	△ 11,579	△ 8.6	224,229
順ざや額		28,338	△ 60,486	△ 68.1	119,223
最低保証に係る責任準備金の増減による影響		16,695	+21,692	-	1,765
保険関係損益		78,748	+27,214	+52.8	103,240

(注)1. 最低保証に係る責任準備金を繰り入れた場合は基礎利益を減少させる要因になり、戻し入れた場合は基礎利益を増加させる要因になる
2. 第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の合算値を掲載

(第一生命)

	(百万円)	2023年9月期		23年3月期	22年9月期
		22/9期増減額	22/9期増減率		
基礎利益		142,663	+4,395	+3.2	257,143
順ざや額		7,554	△ 58,182	△ 88.5	82,067
最低保証に係る責任準備金の増減による影響		0	-	-	0
保険関係損益		135,108	+62,578	+86.3	175,076
うち危険差益		124,523	+50,922	+69.2	166,715

⑤準備金(国内グループ生保合算値)

	(百万円)	2023年9月末		23年3月末	22年9月末
		23/3末比	22/9末比		
責任準備金(除く危険準備金)		37,183,471	+647,774	+130,494	36,535,696
うち一般勘定(除く危険準備金)		35,040,395	+798,059	+411,611	34,242,336
うち特別勘定(除く危険準備金)		2,143,075	△ 150,285	△ 281,117	2,293,360
価格変動準備金		314,661	+9,100	+16,001	305,560
危険準備金		717,089	+16,320	△ 4,884	700,768
危険準備積立金		0	-	-	0
価格変動積立金		0	-	-	0

(注)1. 危険準備積立金・価格変動積立金は、剰余金処分後の残高を記載 ※3月末比、9月末比は増減実額
2. 第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の合算値を掲載

⑥含み損益

	(百万円)	2023年9月末		23年3月末	22年9月末
		23/3末比	22/9末比		
有価証券		2,074,974	△ 584,478	△ 338,263	2,659,453
うち国内株式		2,287,897	+340,465	+547,925	1,947,431
うち国内債券		△ 377,766	△ 1,040,456	△ 1,123,403	662,690
うち外国証券		147,832	+109,050	+235,631	38,781
不動産		526,662	+3,167	+35,922	523,494
その他共計		2,490,962	△ 650,813	△ 364,117	3,141,776

(注)1. 不動産の含み損益は国内不動産(含む借地権)を対象とし、再評価前の水準 ※3月末比、9月末比は増減実額
2. 第一生命の実績を掲載

⑦運用実績と計画

	上期実績	下期計画
国内株式	(百万円) +329,658	減少
国内債券	(百万円) +795,831	増加
外国株式等	(百万円) +107,100	株価水準次第で機動的に残高調整
外国債券	(百万円) △352,857	金利・為替水準次第で機動的に残高調整
不動産	(百万円) +5,767	増加

(注)第一生命の実績を貸借対照表価額ベースで掲載

⑧資産の含み損益がゼロになる水準

	2023年9月末時点
国内株式(日経平均)	(円) 10,900
国内株式(TOPIX)	(ポイント) 790
国内債券	(%) 0.6
外国証券	(円) 127

(注)1. 国内株式は日経平均およびTOPIXに連動させ、株式の評価基準にあわせて算出
2. 国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第1位まで算出
3. 外国証券はドル円換算にて算出
4. 第一生命の水準を掲載

⑨2024年3月期の業績見通し

	2024年3月期の予想
連結保険料等収入	増加の見込
グループ基礎利益	4,300億円程度の見込
保有契約年換算保険料(グループ)	横ばいの見込
保有契約高(国内グループ生保合算値)	減少の見込

⑩社員数

		2023年9月末			23年3月末	22年9月末
			23/3末比	22/9末比		
営業職	(人)	37,563	△2.7	△6.7	38,604	40,260
内勤職	(人)	10,447	△0.6	△4.1	10,508	10,894

(注)1. 社員数(営業職)には、当社と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしているもので、その他補助的業務に従事するものを含む ※3月末比、9月末比は増減比率
2. 第一生命の実績を掲載

⑪金融機関窓販の状況(第一生命と第一フロンティア生命の合算値)

			2023年9月期		23年3月期	22年9月期
				22/9期比		
変額年金保険	新契約件数	(件)	111	△80.9	777	582
	金額(収入保険料)	(百万円)	172	△93.4	3,041	2,624
定額年金保険	新契約件数	(件)	84,323	+53.6	124,523	54,889
	金額(収入保険料)	(百万円)	515,734	+55.1	736,939	332,603

(注)金融機関とは銀行、証券会社、信託銀行、信用金庫 ※9月期比は増減比率

			2023年9月期		23年3月期	22年9月期
				22/9期比		
変額一時払 終身保険	新契約件数	(件)	24	△73.6	127	91
	金額(収入保険料)	(百万円)	246	△75.0	1,300	987
定額一時払 終身保険	新契約件数	(件)	30,259	+7.6	70,435	28,111
	金額(収入保険料)	(百万円)	315,479	+19.4	668,581	264,316

(注)金融機関とは銀行、証券会社、信託銀行、信用金庫 ※9月期比は増減比率

			2023年9月期		23年3月期	22年9月期
				22/9期比		
定額一時払 養老保険	新契約件数	(件)	-	-	-	-
	金額(収入保険料)	(百万円)	-	-	-	-

(注)金融機関とは銀行、証券会社、信託銀行、信用金庫 ※9月期比は増減比率

その他質問項目(2023年9月)

○変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金繰入・戻入の状況

			2023年9月期	23年3月期	22年9月期
変額年金保険等の 最低保証に係る 一般勘定の 責任準備金繰入・戻入	第一生命	(億円)	0	0	0
	第一フロンティア生命	(億円)	△ 166	△ 17	49
	第一、第一フロンティア合算値	(億円)	△ 166	△ 17	49

(注)繰入額についてはプラスで表示、戻入額についてはマイナスで表示